



百花繚乱 扇の華
 「第17回 高島扇面の美展」で



●特集 ②-⑤ **食べることは 生きること**

- | | | | |
|-------|-------------------|----|-------------|
| 6 | タウンピックアップ・省エネ長者作戦 | 15 | びょういんだより |
| 7-9 | お知らせ拡大版 | 16 | 国保年金あらかると |
| 10 | みんなで5・7・5 | 21 | 情報おしらせ版 |
| 11 | こころの絆 | 22 | そうだ図書館に行こう♪ |
| 12・13 | まちネタ写真館 | 23 | 窓口・納税 |
| 14 | 健康生活 | 24 | 歴史散歩 |

【お断り】
 「市長日記」「教育委員会 information」は休みます。

皆様への書面による年始の挨拶は、おなじみの「あけましておめでとう」です。今年も、おなじみの「あけましておめでとう」です。

あけましておめでとう
 あけましておめでとう
 あけましておめでとう

❀ **広報たかしま**
 (平成21年1月1日現在)

第82号

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
 〒160-0802 滋賀県高島市新旭町北畑のの5番地 ☎0740(25)8130

http://www.city.takashima.shiga.jp
 info@city.takashima.shiga.jp

高島市

歴史散歩

No.49

「鯖街道」の最短ルート

根来峠



高島市の西北端にあたる朽木針畑地域の小入谷と福井県小浜市の上根来を結ぶ道は、小浜で陸揚げされた鯖を始めとする海産物を京の都へ運んだ数ある「鯖街道」の中の最短ルートとして知られ、昭和初期ごろまでは、荷物を背負ったたくさんの方が行き交ったといわれています。県境の峠は、根来峠・根来坂と呼ばれ、最近では中央分水嶺・高島トレイルの主要ポイントとしても紹介されることが多くなっています。

峠には、祀られた地蔵と「大乗妙典 一石一字塔」と記された細い自然石が建っています。一石一字塔とは、偏平な石等に経文を書写して埋めた場所に建てられ

たもので、石に刻まれた文字からは、寛政9年(1797年)に針畑の住人である林彦大夫の書写・埋納によって建てられた一石一字塔であることが分かります。また、峠をこえた福井県側には、小さなお堂に祀られた地蔵と山中には珍しい井戸があります。井戸には弘法大師がその場所を人々に教えたという言い伝えが残り、かつては多くの旅人ののどを潤したであろうことが想像できます。人の往来が多かった時期には、井戸の隣に茶店があったともいわれています。



根来峠の井戸

一方、滋賀県側の峠の入口には「焼尾地蔵」と呼ばれる地蔵が祀られています。この焼尾地蔵の名前は、昔、針畑の村人が峠越えの途中で、この地蔵に「おれの家を燃やすことができるか」と挑発すると、村人が帰るまでに自分の家が火事になっていた、という伝承から名付けられたものといわれています。針畑の人々は、それ以来この地蔵の靈験を信じ、大切に守り伝えるようになったといわれています。

このように、峠やそこに至る峠道の周辺には、峠を開いた人や峠道を通った人々の信仰にかかわる文化財がたくさん残されています。それらからは、電車や車のない時代に、荷物を背負って山道を行き来した旅人たちの、峠を無事に越えることができるようにという切実な思いをうかがうことができます。(文化財課)

ねごりとうげ
根来峠



いよいよウィンターシーズン到来!
 (箱館山スキー場で)

編集後記

